

Theater workation

シアターワーケーション

あきた芸術村を活用した、テレワーク&パッケージ

Theater Education

シアターエデュケーション

プロの俳優陣による、演劇的人材育成プログラム

シアターワーケーションって？ 人生の友に劇場を加えませんか。

Theater Workation History

1951 わらび座創立

1953 秋田へ定着

1974 わらび劇場オープン

「いつか、自分たちの劇場を建てよう。」

この夢は、いつか、数百万人の夢に。クラウドファンディングなんてない時代。独自の募金、協力金システムにより前代未聞の「民衆立劇場」が誕生！

1975 宿泊棟完成

わらび劇場が完成した翌年、「我が劇場」での舞台を楽しみたいと、一気に数百名が集う交流の場に。このため、650名収容の5階建て宿泊施設を建設。今の温泉ゆぼぼホテル棟だ。

1976 修学旅行スタート

「劇団だからこそできる体験プログラムを開発しよう。」

1976年以降、「わらび座修学旅行」が急増。70年代後半、校内暴力が社会問題となった時期。「生きる力を創る修学旅行」「人間と出会う旅」として注目され、今日へと続く。近年はコミュニケーションをテーマとした社員研修プログラム“シアターエデュケーション”へと進化。

1996 たざわこ芸術村オープン

2015 シアターエデュケーション[社員研修プログラム]スタート

2019 テレワークスペース「Senboku Complex」オープン

2020 シアターワーケーションStart!

2021 わらび座70周年

あきた芸術村を活用したワーケーションを、
シアターワーケーションと名付けました。

「なぜ田んぼの真ん中に、劇場が建っているのか？」

初めてあきた芸術村へ来られた皆様は、
大きな三角屋根のわらび劇場を見て驚かれます。
築46年、建坪1,500㎡、700人収容、本格的な舞台機構を備え、
25年間ミュージカルの常設公演を継続。
あきた芸術村は劇団わらび座のホームベースであり、
その中核のわらび劇場は、数百万人の支援により
田んぼの真ん中に建った、夢の結晶です。

創立70周年を前に、
あきた芸術村わらび劇場は新たなミッションを頂きました。
それは、新しい働き方“ワーケーション”の場になること。

「劇場は人生の友である」。

これは、私たちが大切にしてきた姿勢です。
時代がどんなに進もうと、劇場として、劇団として、
元祖土着ベンチャー企業としてのこれまでの歩みが、
これから生きる皆様に勇気づけることに
少しでもお役に立てればと願っております。

わらび座が選んだのは、秋田でした。

1951年、わらび座は東京で誕生しました。1953年、わらび座は秋田を選び、定着しました。

秋田のワーケーションの魅力、ほんの一部ですが、ご紹介します。

1、日本の原風景とそれを支える芸能にふれるワーケーション

秋田県は重要無形民俗文化財数全国1位です。そして、わらび座が秋田へ定着した、一番の理由は、民謡民舞の宝庫だったから。集落に伝わる民俗芸能の数々は、地域を根っこで支える歴史、誇り、愛情の凝縮です。わらび座は地元の皆様から踊りを習い、舞台でお届けしています。

2、個性あふれる温泉地で身も心もリフレッシュするワーケーション

あきた芸術村にも温泉が湧いています。また仙北市には、日本に名高い秘湯「乳頭温泉郷」があります。ブナの原生林で生まれたての酸素を深呼吸し、地底から湧き出たばかりの温泉に浸かる。大地に自生する山菜・きのこを食す。大地の恵みを五感で味わってください。

3、美酒美食・秋田の食文化を満喫、伝統の発酵文化の哲学に触れるワーケーション

秋田は、およそ半年が深い雪覆われます。だからこそ、農山村に生きる人々は様々な生活の知恵を生み出し、冬を生き抜く貯蔵技術を高めていきました。きりたんぼはマタギの非常食として山へ持っていったのが始まりといわれています。いぶりがっこに代表する漬物、ハタハタずしなど、秋田には今注目の発酵食品が古くからの生活に根付いています。35の酒蔵は豊富な原料米と清冽な水に恵まれ、古い伝統を守りながらも新たな技への挑戦を続けています。

そんな秋田は今、全国1位の高齢化率・人口減少率。課題先進県秋田は、前向きに捉えれば、新しいビジネスモデルや製品、サービスを構想するチャンスにあふれた豊かな土壌です。

演劇×地域力 あきた芸術村って？

特徴① 劇団わらび座の本拠地

わらび座の舞台はすべて、あきた芸術村から生み出されます。プロの役者たち・クリエイティブな舞台スタッフなど、68年間変化し続ける土着ベンチャー企業“わらび座”のエネルギーに触れ、社員そろって心を動かす、オンリー1の感動体験をご提供します。ミュージカルの観劇、お食事会場でのアトラクション、稽古場でのワークショップなど多様なニーズにお応えします。

特徴② 温泉と世界1位の地ビールが楽しめる！

あきた芸術村は山々に囲まれた、田んぼのど真ん中にあります。自然とアートのかは、なにげない自然の美しさ・かけがえのないひと時の愛おしさに気づかせてくれます。また、芸術村の中に宿泊・温泉・地ビール工場などが併設しているため、仕事とバケーションの効率のよい工程が可能です。ホテル会議室・稽古場などご要望に応じて地方ならではの空間をご提供できます。シアターエデュケーション後の地ビールでの懇親は、チームの一体感を高めるのに最高です！

特徴③ 充実の周辺観光

あきた芸術村は、秋田県仙北市に位置し、東北新幹線角館駅からバスで10分の場所にあります。周辺は、小京都角館、田沢湖、抱き返り溪谷、乳頭温泉郷など大自然と歴史に触れることのできる有数の観光地が目白押し。



あきた芸術村 Senboku Workplex ホテルの目の前のテレワーク会場



Semboku Workplex
(センボクワークプレックス)は
ITとアートのかで
これからの働き方、
暮らし方を支える
テレワーク &
ワーケーションオフィスです。

所在地:

〒014-1192

秋田県仙北市田沢湖卒田字
早稲田430 あきた芸術村内

営業時間:9:00 ~ 21:00

連絡先:

〒010-0865 秋田県秋田市手形新
栄町7番47号

ADK富士システム DXセンター内
電話番号:018 - 838 - 1173



Theater Workation おすすめスタイル①

集中会議・研修型 ワークーション

課題解決型プロジェクトをプロジェクトメンバーが旅先で行うワークーション。

例えば、通常は一緒に働くことのない社員でチームを作り、開放感のある環境で、通常業務から距離を置き、いつもと違う思考を深め議論します。ビジネスに実際にインパクトを与えるようなクリエイティブな答えを探すことに積極的に取り組めるメリットがあります。

また、わらび座が提供するシアターエデュケーションプログラムを同時に取り込めば、お互いのことを知ったり、コミュニケーションの意識改革の機会となり、チームビルディングに繋がり、会議のパフォーマンスも向上します。

さらに、東北ITBOOKとの連携により、地元の自治体や経済団体、企業とのマッチングの対応などにも、個別の相談に応じることが可能です。

イメージ案	1日目	2日目	3日目
午前	移動	新規プロジェクト 開発会議①	各自テレワーク や、観光(乳頭温泉郷)
お昼	お食事処ばきやで お食事	田沢湖ビール ランチ	
午後	ミュージカル観劇 シアターエデュケーショ ン研修	新規プロジェクト 開発会議②	各自テレワーク や、観光(角館散策)
夕食	温泉ゆぽぽで夕食 ※役者による歓迎アトラ クション付	地元団体との懇親会	帰路へ
夜	各自テレワーク	交流会	



Theater Workation おすすめスタイル②

おやこでワーケーション

おやこで楽しむ、ワーケーション。長期休暇の間に、どうしても必要な会議はテレビ会議で。もし、子育て中のスタッフが多い会社であれば、合宿を兼ねて、プロジェクト会議を持つことも。普段は、子どものお迎えなど、時間の制約があるけれど、それを気にせずに話を深められるのも「親子ワーケーション」のメリット。

大人たちは、普段とは違う環境に身をおいて、リラックスした雰囲気の中、発想を豊かにしてくれる大自然を味方に、充実した時間を過ごすことができます。また、子どもたちも、午前中に宿題や自由研究を行い、午後は子ども同士で遊んだり、体験プログラムに参加したりと、メリハリある時間の過ごし方ができます。

あきた芸術村では、充実した体験プログラムをご提供。観劇体験、近隣農家での農家体験、舞台美術ワークショップなど、おやこでの大切な思い出作りをサポートします。

イメージ案	1日目	2日目	3日目
午前	移動	親:テレビ会議 子:工芸体験、宿題	おやこで農作業体験
お昼	お食事処ばきやで お食事	田沢湖ビール ランチ	農家レストラン
午後	おやこで ミュージカル観劇	田沢湖観光	半日
夕食	温泉ゆぽぽで夕食	ご夕食※役者による歓迎アトラクション付	
夜	親:テレワーク		



Akita Art Village Experience

体験と発見こそが真の贅沢

ブルーベリー
摘み取り体験



陶芸体験
絵付け体験



発酵芸能ステージ+発酵食体験



温泉



ミュージカル
観劇体験



世界1位のクラフト
ビール体験

サムライ体験
踊り体験



太鼓体験



コスプレ体験



Akita Art Village Experience

体験と発見こそが真の贅沢

役者に学ぶおすすめ体験プログラム シアターエデュケーションプログラム

対話の基礎体力と意欲の向上を目指す演劇的なスキルを用いたワークショップ。日常のコミュニケーションのあり方こそ、会社全体のパフォーマンスを左右するものです。

“Diversity and Inclusion”——年齢、性別、ライフスタイル、障害の有無、国籍など職場環境の多様化がすすむ現代、多様な人が働きやすい環境・人間関係の改善こそ、企業の持続的発展・離職率の低下への近道です。



コミュニケーション力（対話の基礎体力と意欲）・対人関係力の向上



おすすめ体験プログラム 農家体験プログラム

あきた芸術村近隣農家さんのご協力を得て、農業体験の取り組みを重ねてきました。

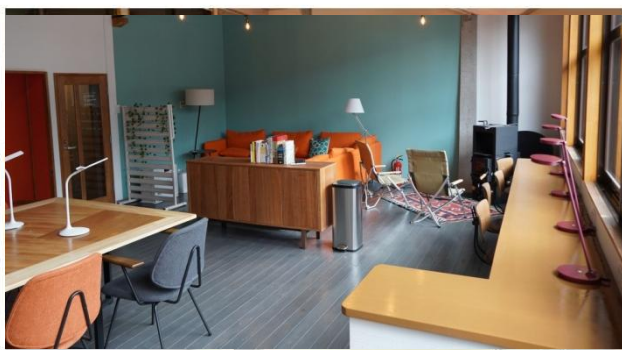
「米も野菜もひとつの生命。」
「お米や野菜を作るのが農業だと勘違いしていないかな。お米も野菜も作れないんだよ。一つひとつの命は自然の力で伸びていく、人間にできるのは、それを見守り育てることだ」

と、語ってくれる農家の父さん母さんと一緒に汗を流し、一日の目標とした仕事をやり終えたときには、かけがえのない充実感を握りしめることができます。

薪ストーブや囲炉裏を囲んで、わら細工の先生は農家のおじいちゃん。一方、おばあちゃんは、あんこ入りお焼きやゆべしなどおやつ作りの先生。お年寄りの知恵や技、その見事さに瞬時にファンになってしまいます。



あきた芸術村施設案内 (一部)



Semboku Complex
テレワーク会場

1Fフロント・応接室
打ち合わせスペース



けあき・地ビールレストラン
懇親会会場など



紫苑・北浦・ばっきや
会議や宴会会場



片栗花・山桜・水芭蕉
テレワーク会場・会議利用



稽古場・製作場
ワークショップ会場など

お問い合わせ

ワークショップの費用は、個別の企業に対して、交通費、宿泊、研修費用などの実費と企業独自の目的に応じて、固有のメニューを設計してまいります。
お気軽にお問い合わせください。



《お問い合わせ》

あきた芸術村 わらび劇場

〒014-1192

秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田430

TEL：0187-44-3915 FAX：0187-44-3318

メール gekijyo1@warabi.or.jp